

令和元年度  
岡山市歯と口腔の健康づくり協議会

岡山市におけるオーラル  
フレイル対策について

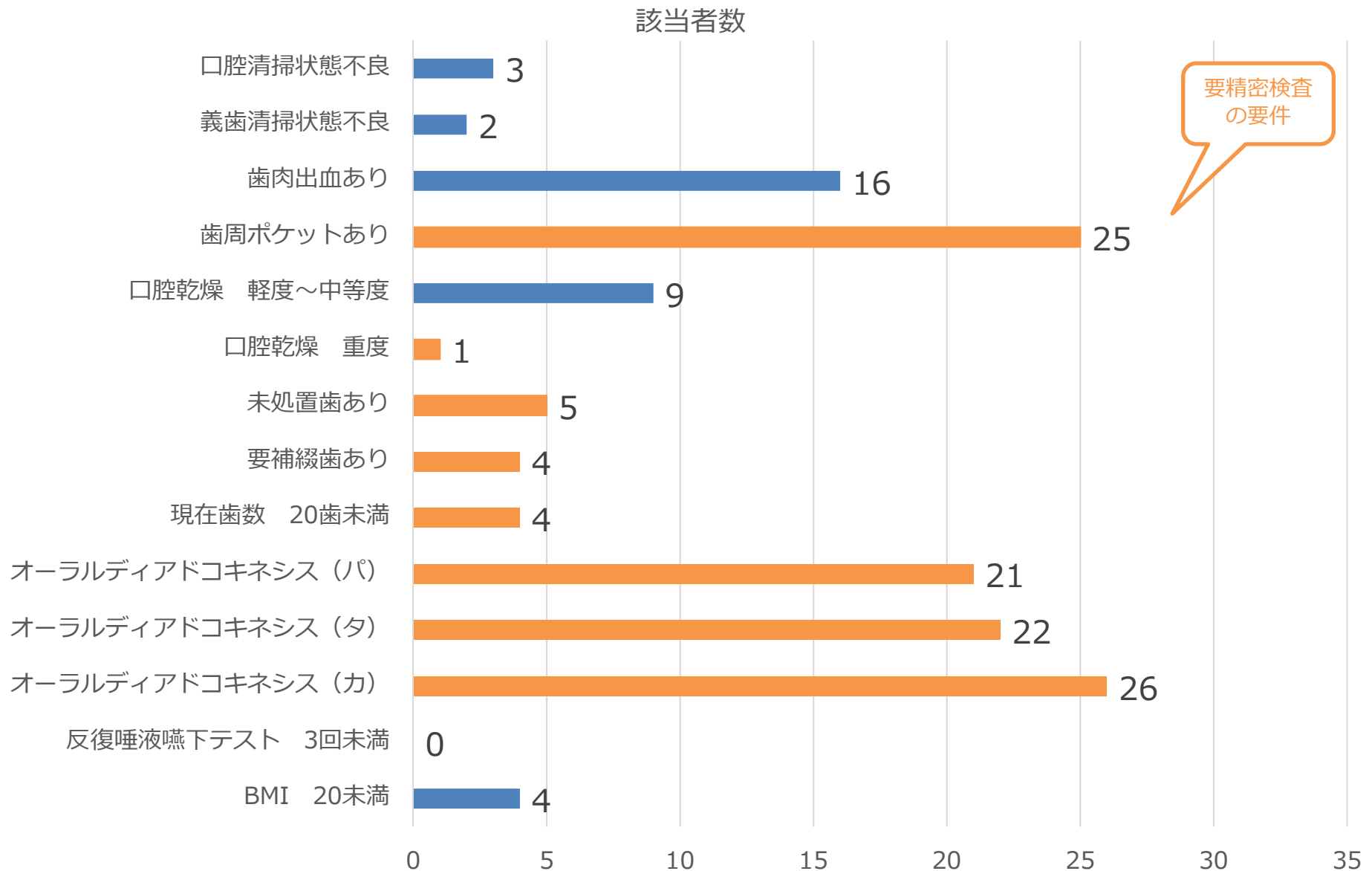
# 高齢者歯科口腔健診の結果

要精密検査  
の要件

ID	歯肉出血	口腔清掃状態不良	齧歯清掃状態不良	口腔乾燥軽度～中等度	BMI 20未満	生活習慣等	未処置歯あり	歯周ポケット	要補綴歯あり	現在歯数 20歯未満	粘膜の異常あり	口腔乾燥重度	オーラルディアドコキネシス (ハ)	オーラルディアドコキネシス (タ)	オーラルディアドコキネシス (カ)	反復唾液嚥下テスト 3回未満	全身疾患等	その他	判定区分
1								○	○				○	○	○				要精密検査
2	○	○						○					○	○	○				要精密検査
3	○							○					○						要精密検査
4	○				○		○	○					○	○	○				要精密検査
5	○							○											要精密検査
6	○							○					○	○	○				要精密検査
7	○			○				○					○	○	○				要精密検査
8	○			○				○					○	○	○				要精密検査
9	○	○	○	○			○	○					○	○	○				要精密検査
10	○			○				○					○	○	○				要精密検査
11	○			○				○					○	○	○				要精密検査
12								○	○				○	○	○				要精密検査
13	○				○			○	○				○	○	○				要精密検査
14													○	○	○				要精密検査
15					○										○				要精密検査
16	○			○									○	○	○				要精密検査
17									○						○				要精密検査
18	○							○					○	○	○				要精密検査
19				○											○				要精密検査
20							○	○							○	○			要精密検査
21								○					○	○	○				要精密検査
22					○			○											要精密検査
23								○											要精密検査
24								○											要精密検査
25								○							○				要精密検査
26							○			○			○	○	○				要精密検査
27	○	○										○		○	○				要精密検査
28	○						○	○					○	○	○				要精密検査
29								○		○									要精密検査
30	○		○					○					○	○	○				要精密検査
31										○			○	○	○				要精密検査
32																			問題なし
33								○					○	○	○				要精密検査
34										○									要精密検査
35				○				○											要精密検査

平成31年度高齢者歯科口腔健診結果より

# 高齢者歯科口腔健診の結果



平成31年度高齢者歯科口腔健診結果より

# 口腔機能の低下が認められる人の割合

60歳代では、半数近くに口腔機能の低下が認められた

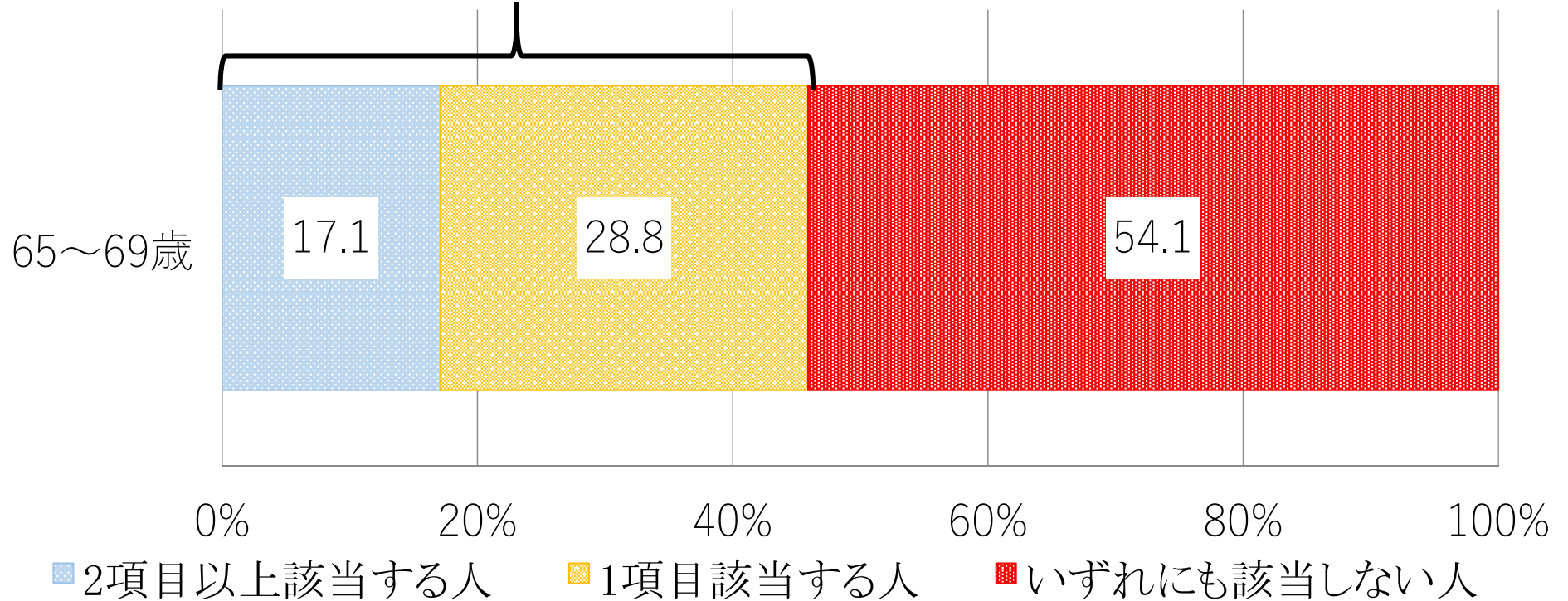
〔該当する項目数〕

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

お茶や汁物等でむせることがありますか。

口の渇きが気になりますか。

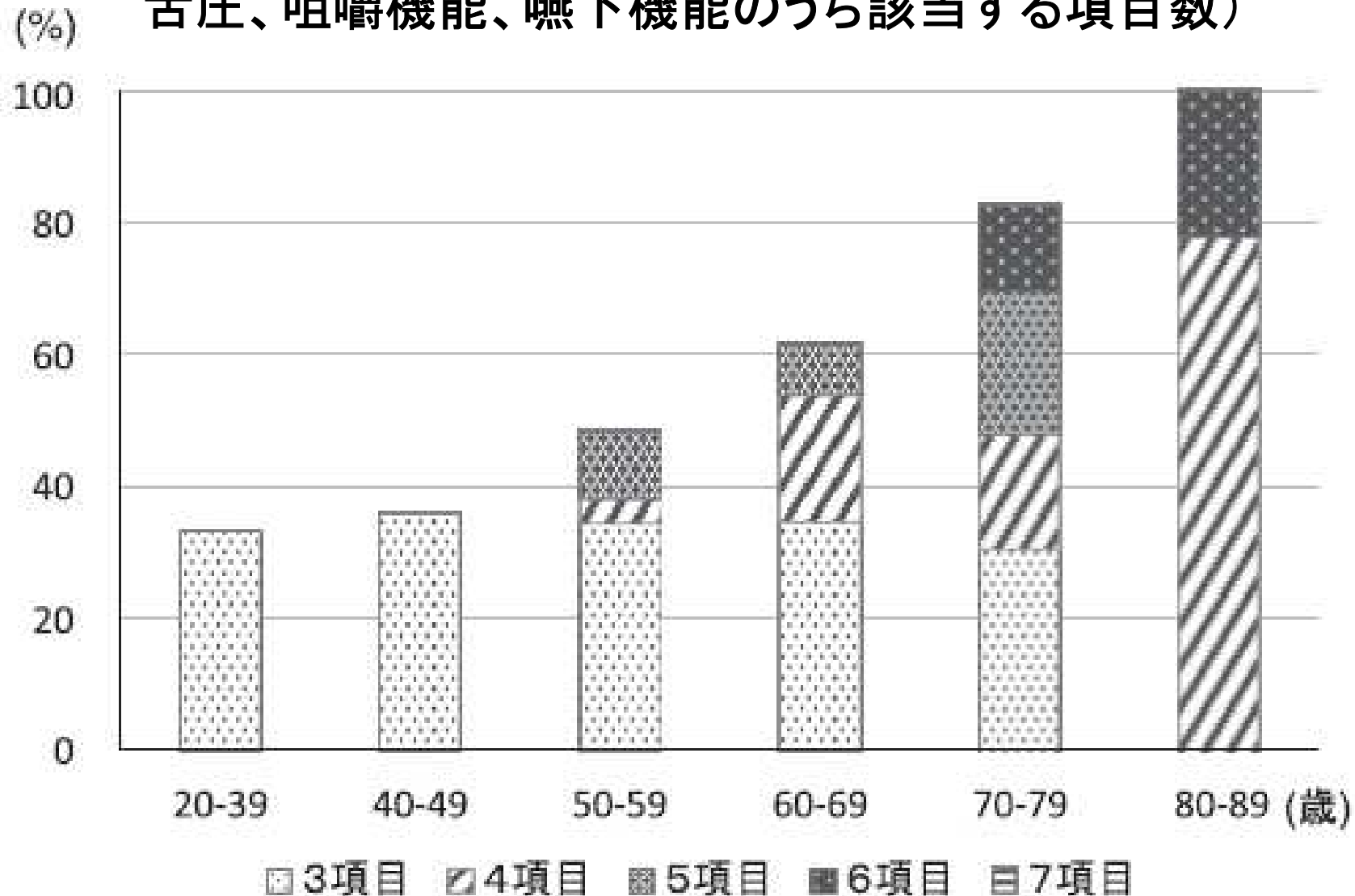
口腔機能の低下



歯科保健基本計画中間評価より

# 口腔機能低下症の年代別の割合

(口腔不潔、口腔乾燥、咬合力、舌口唇運動低下、舌圧、咀嚼機能、嚥下機能のうち該当する項目数)

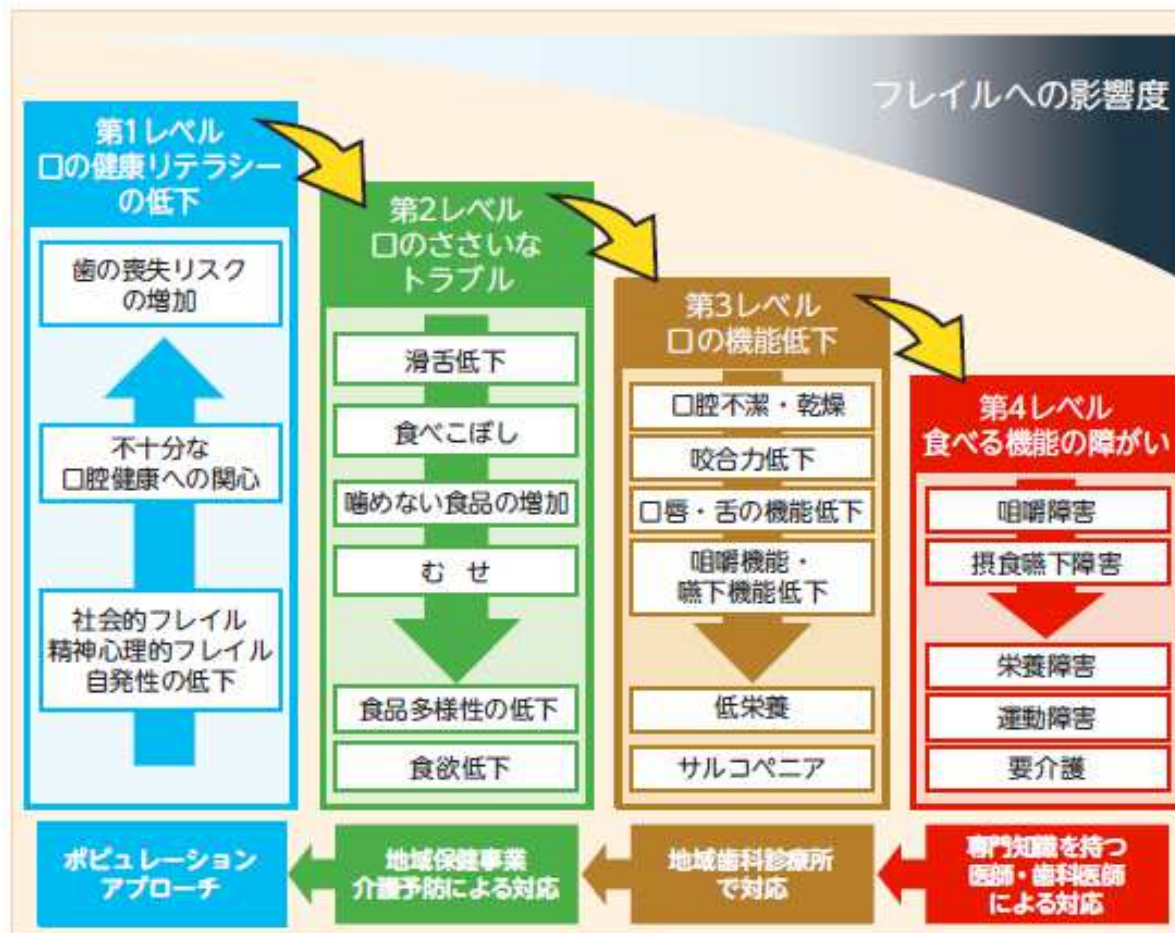


太田ら, 老年歯学33 (79-84), 2018 より引用

# オーラルフレイルについて

## オーラルフレイルとは

口に関する“ささいな衰え”が軽視されないように、口の機能低下、食べる機能の障害、さらには、心身の機能低下までつながる“負の連鎖”に警鐘を鳴らした概念



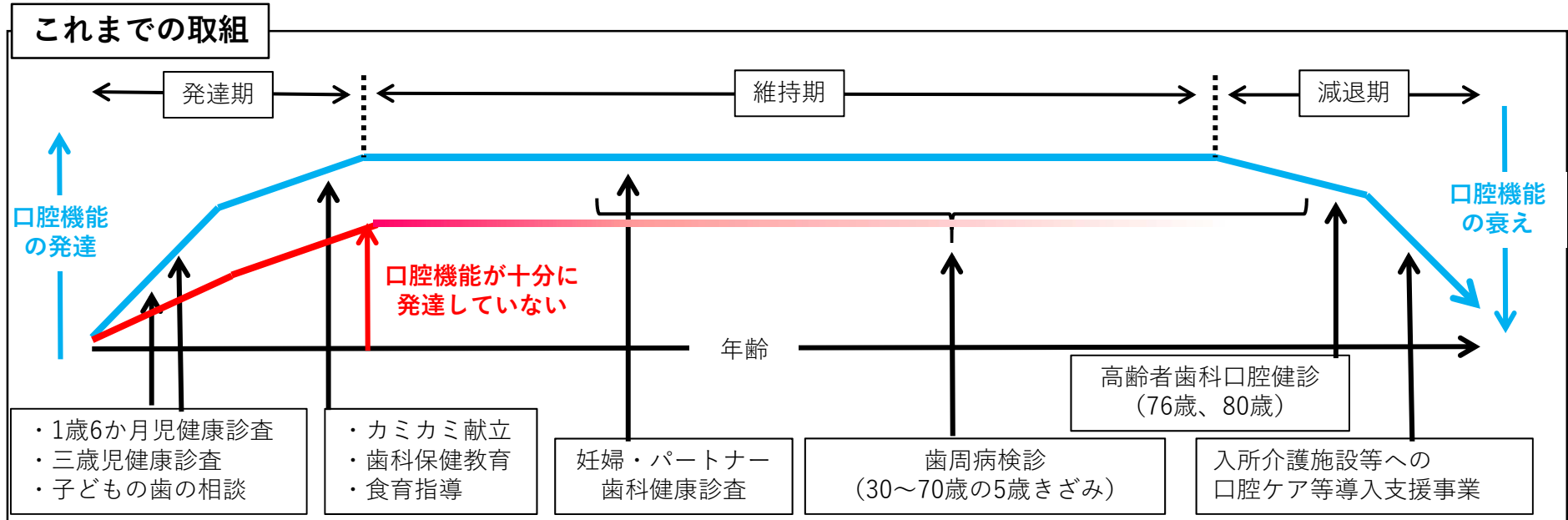
オーラルフレイル概念図  
2019年版

# 岡山市における口腔機能の獲得、維持・向上に向けた対策

岡山市歯科保健基本計画の重点的な取組事項

歯と口の働き（口腔機能）の健全な育成、機能の維持・向上

障害者（児）、要介護者の口腔の健康の保持・増進への取組



高齢者のオーラルフレイル（口腔機能の低下）は低栄養や誤嚥性肺炎に直結する

## 岡山市歯科保健基本計画 中間評価

目標項目	目標	計画策定時	中間評価時	評価
60歳代における口腔機能の低下が認められない人の割合の増加	80%	68.3% (H22年度)	54.1% (H28年度)	悪化

高齢者の  
オーラルフレイル対策

# 高齢者の口腔機能の維持・向上（オーラルフレイル）対策

## 課題と対策の方向性

オーラルフレイルは近年になって新しく提唱された概念であるため、市民の認識・理解が不十分。

⇒ **オーラルフレイルについての市民の認識を深める**とともに、**口腔機能の維持・向上のための支援策の構築**を検討する必要がある。

## 平成31年度の実施

### ○ 高齢期における口腔機能の維持・向上に関する普及啓発

- ・「岡山市保健所からのお知らせ」（全戸配布）、情報誌「ai」（全戸配布）にオーラルフレイルのセルフチェックを掲載
- ・前年度の歯周病検診の受診者に対してオーラルフレイルのリーフレット（セルフチェック掲載）を送付
- ・地区組織対象にオーラルフレイルとその対策についての健康教育の実施

### ○ 高齢者歯科口腔健診（76歳）の実施

## 令和2年度の実施イメージ（案）

### 高齢者

#### 普及啓発

- ・オーラルフレイルのセルフチェック
- ・口腔の体操 など

### 75歳以上

#### 医療機関

後期高齢者健診（口腔に関する問診）

リーフレット等を用いた歯科受診勧奨

#### 歯科医療機関

歯科保健指導

・オーラルフレイル対策

### 76歳, 80歳

高齢者歯科口腔健診

・個別通知による健診の案内

#### フレイルチェック

- ・口腔機能に関する質問項目

#### 介護予防教室 等

- ・口腔の体操 など



# 口腔機能の維持・向上（オーラルフレイル）対策

年代	現状			現行事業	今後の対策
	概要	歯科保健基本計画で把握している項目 （計画策定時→中間評価時）目標値	課題		
30歳	口腔機能の低下が認められる人がいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去1年間に歯科検診を受診した人（29.5%→45.1%）65%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔機能・オーラルフレイルについて知っている人の割合が不明</li> </ul>	周知・啓発 広報 健康教育 イベント 歯周病検診	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔機能・オーラルフレイルについて周知する</li> <li>フレイル対策との連携（フレイルチェックから歯科受診へ確実につなげる） （フレイルサポーターの養成への協力）</li> <li>歯周病検診の内容を検討する（口腔機能健診の実施）</li> <li>通所介護施設職員等への周知・啓発</li> <li>歯科衛生士等歯科専門職向けの口腔機能に関する研修</li> <li>医師等他職種との連携</li> </ul>
60歳	口腔機能の低下が顕著に表れ始める。歯が全く無い人も存在する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去1年間に歯科検診を受診した人（29.5%→45.1%）65%</li> <li>40歳で喪失歯のない人（72.7%→78.0%）80%</li> <li>60歳で24本以上の自分の歯を有する人（64.6%→76.9%）80%</li> <li>60歳代における口腔機能の低下が認められない人（68.3%→54.1%）80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔機能・オーラルフレイルについて知っている人の割合が不明</li> <li>サロン等での歯科講師の依頼が多すぎて、対応できていない</li> </ul>	周知・啓発 広報 健康教育 介護予防教室 イベント フレイルチェックの実施 歯周病検診	
75歳	ほとんどの人が、口腔機能低下症に該当する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去1年間に歯科検診を受診した人（29.5%→45.1%）65%</li> <li>摂食機能療法を行う歯科医療機関数（50件→45件）増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食機能療法を行う歯科医療機関が減少している</li> <li>高齢者歯科口腔健診の受診者数が少ない</li> </ul>	広報 健康教育・介護予防教室での普及 イベントを通じた周知 フレイルチェックの実施 高齢者歯科口腔健診	
要介護	摂食嚥下障害・咀嚼障害を起こしている人がいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食機能療法を行う歯科医療機関数（50件→45件）増加</li> <li>介護老人福祉施設・介護老人保健施設等での定期的な歯科検診の実施率（28.1%→50.0%）100%</li> <li>歯科訪問診療を行う歯科医療機関数（219件→215件）300件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護者の口腔内状態が不明</li> <li>歯科訪問診療の需要と供給のバランスが不明</li> </ul>	入所介護施設等への口腔ケア等導入支援事業 （施設が主体的に口腔ケアを行う契機となることが目的）	